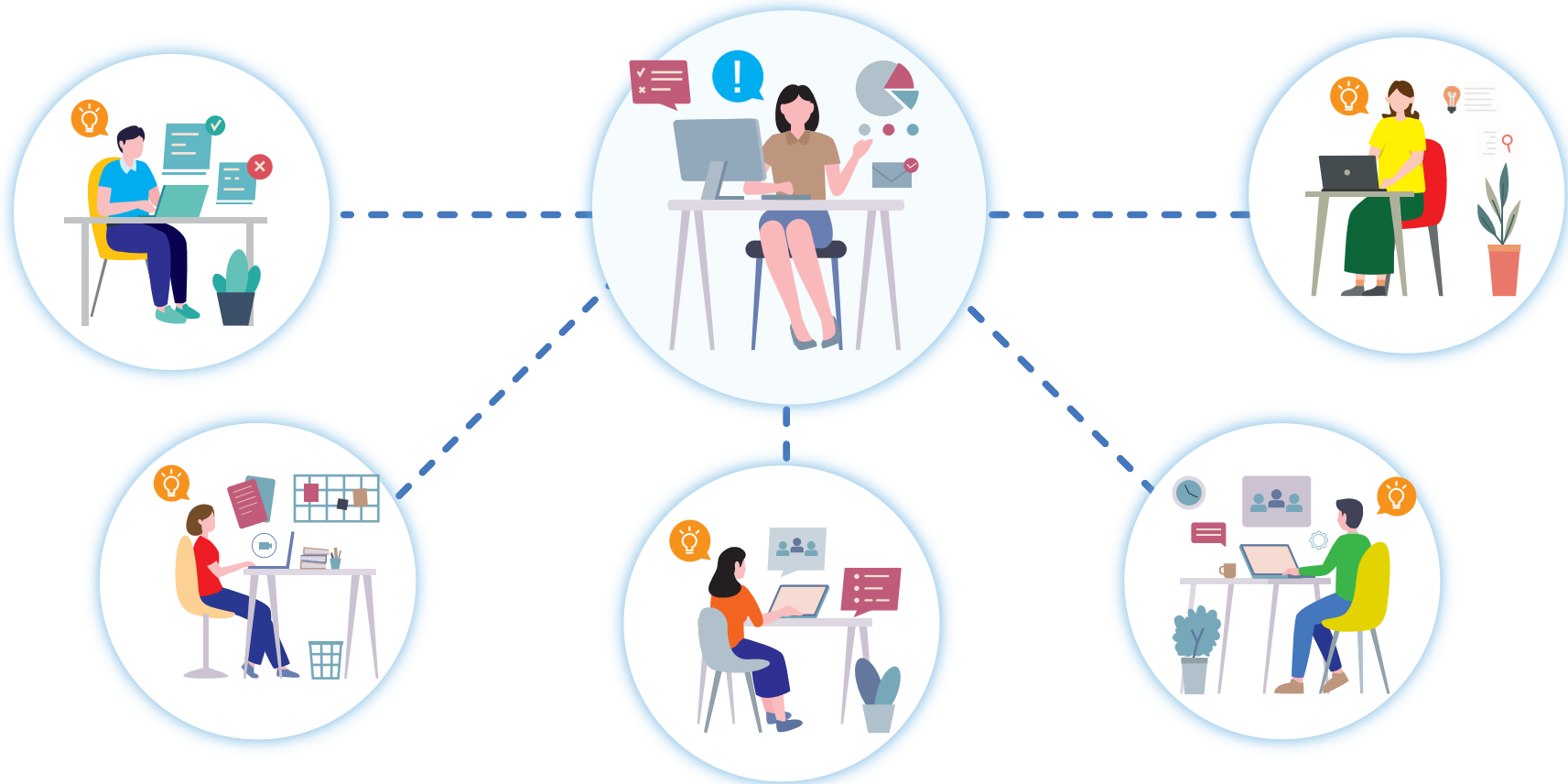


令和3年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」
(2) 教職員の資質能力向上の推進①効果的な教育成果②教職員研修プログラムの構築

ICT活用研修教材

～アダプティブラーニング教授法を修得するための研修プログラム～



令和3年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」
(2) 教職員の資質能力向上の推進①効果的な教育成果②教職員研修プログラムの構築

ICT活用研修教材

～アダプティブラーニング教授法を修得するための研修プログラム～

目次

アダプティブ・ラーニング教授法習得研修	5
自己紹介	7
アダプティブ・ラーニングの事例とポイント	12
アダプティブ・ラーニングとは.....	14
事例	21
個人ワーク	43
グループワーク	44
グループ発表	45
「勇気づけコミュニケーション」理論と手法を学ぶ（実践編）	51
【演習 1】	60
【演習 2】	62
【演習 3】	67
【演習 4】	69
【演習 5】	73
まとめ	78

アダプティブ・ラーニング 教授法習得研修

自己紹介



石川 大樹（いしかわ ひろき）

デジタルハリウッド大学大学院 助教
デジタルハリウッド株式会社 動画教材開発責任者



中田 明子（なかた あきこ）

株式会社リソースフル 代表取締役
D&Iチームビルディングコーチ

アダプティブ・ラーニング（AL）教授法の定義

学生一人ひとりに合った学習支援

ICTを活用したコミュニケーション

本研修の主題

AL実践事例から、支援方法を検討

コミュニケーションをコーチングから学ぶ

<今回は学習にフォーカス>

研修の流れ

石川	20分	講義	ALの事例を知る
	15分	個人ワーク	学習状態把握のためのログ項目、収集方法、タイミングの検討
	30分	グループワーク	グループで共有と相互評価&グループ代表から発表

中田	60分	講義	コミュニケーションの考え方
	5分	演習 1	3人
	7分	演習 2	2人
	5分	演習 3	2人
	5分	演習 4	3人
	5分	演習 5	2人
	20分	ケーススタディ 1	ケーススタディ①こんな学生、どうフィードバックする？ ①
	20分	ケーススタディ 2	ケーススタディ①こんな学生、どうフィードバックする？ ②

本研修で使うもの

① Google Classroom

⇒ご用意いただいたフリーGmailでログインください。

アカウント 検索 マップ
YouTube Play Gmail
カレンダー 翻訳 フォト
連絡先 ショッピング... Classroom

クラスに参加
クラスを作成

現在、次のメールアドレスでログインしています
Hollywood Digital
hiroki.ishikawa.dhgs@gmail.com [アカウントを切り替える](#)

クラスコード
教師にクラスコードを聞いてこちらに入力してください。

クラスコード

5t27yy3

【第一部】 アダプティブ・ラーニングの事例とポイント

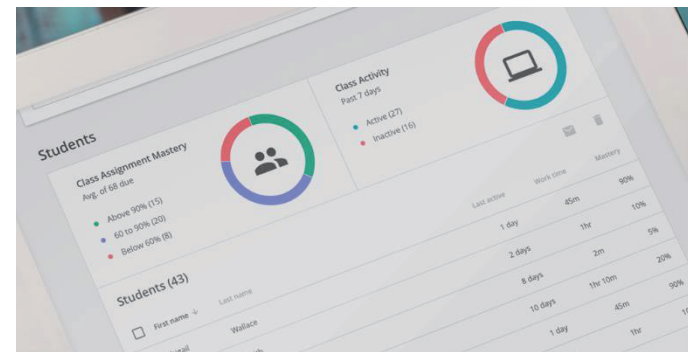
第一部の目標

**アダプティブ・ラーニングの実践事例を知り、
自身の授業への活用を考える**

アダプティブ・ラーニングとは？

アダプティブ・ラーニング = 適応学習

共通テストなどで学習者1人1人の学習理解度を分析し
個々の学力に最適化された個別学習用コンテンツを
自動的にA.I（人工知能）で採点・判断・提供



参照：<https://www.knewton.com/blog/product/introducing-alta/>

アダプティブ・ラーニングとは？

学校や塾における
個別学習
アダプティブ・ラーニング

AIによる
『無学年学習』

学年を超えて、自分のペースで
学習できる



「AI×人間の先生」
全国2,000以上の
塾教室で採用されています。

atama+ホームページより
<https://service.atama.plus/>



Qubena ホームページ より
<https://qubena.com/>



Z会 Asteria ホームページ より
<https://www.zkai.co.jp/z-asteria/>

非常に効果が高い

アダプティブ・ラーニングとは？

塾のAI×アダプティブ・ラーニングが効果を出す理由

- **理解できていない部分を出せる**
(テストは回答が決まっている&データ蓄積可能)
- **何をやるべきか？把握できる**
(以前は何を勉強すればよいか？わからなかった)
- **学習者が自分事にできる**
(受験・成績など人生を左右する)



アダプティブ・ラーニングとは？

専門教育でのAIアダプティブ・ラーニングが難しい

- ・テストだけではない評価方法
- ・0 / 1 の回答ではジャッジできない（所作・習得度）
- ・国家資格系のAI・アダプティブラーニングの仕組みがまだない
- ・機械学習は、導入後のデータ収集がキモ
導入してすぐ効果を出せるわけではない

“人的”アダプティブ・ラーニングの必要性

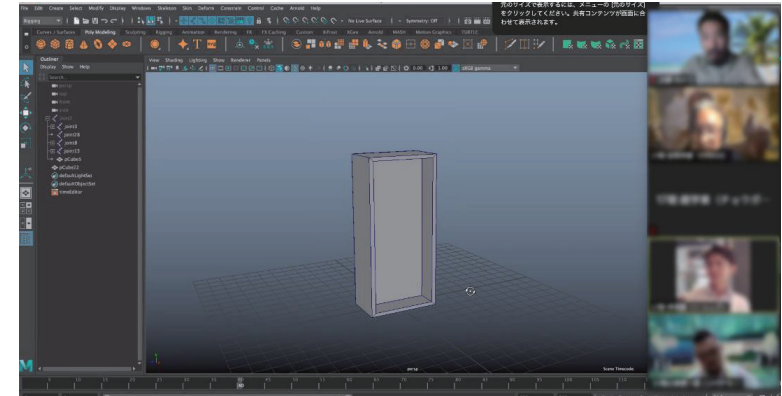


“人的”アダプティブ・ラーニング例

「デジタル表現基礎」

デジタルハリウッド大学大学院で
2019年4月～担当

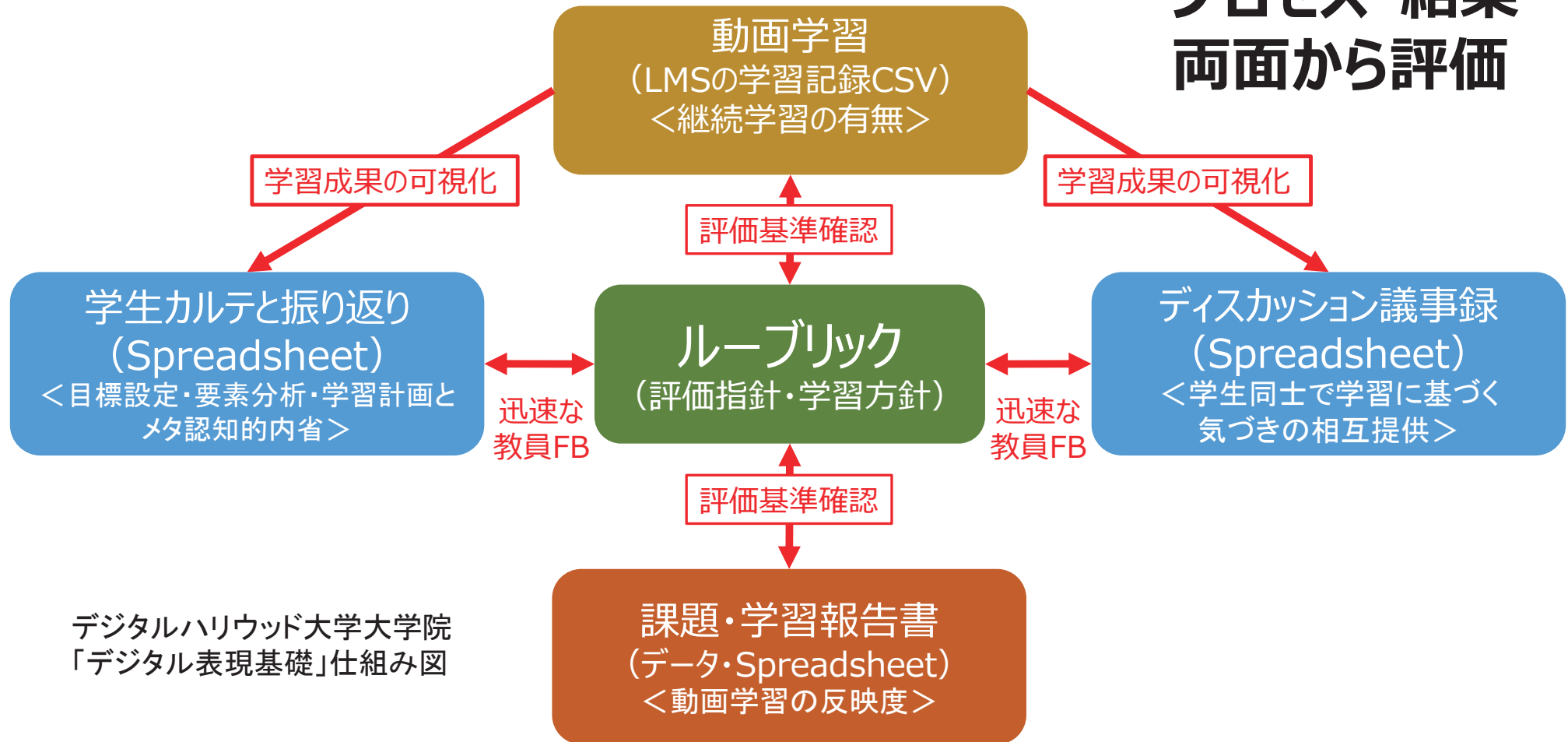
動画教材学習で デジタルコンテンツの 制作基礎を習得する



<p>1-2 動画) After Effects Premiere 講座</p> <p>1-3 Step01_1-1</p> <p>1-4 Step02_After Effects 基礎_ロゴアニメーション</p> <p>1-5 Step03_静止画からアニメーションを作成する</p> <p>1-6 Step04_静止画からアニメーションを作成する</p> <p>1-7 Step05_文字アニメーション</p>	<p><先達の経験点の解消></p> <p>「1-2」の形式の中で、一番汎用性が高く、多くのメディアやモニター、パソコン等で表示することができる。この形式を使うことで、再生できないなどのエラーの発生を防止できる。プリセットは「ソースの一番、高画質のプリセット」がおすすめです。調べた際、他の角度では、この設定で得られる結果は悪かったです。</p> <p><できたこと・勉強になったこと></p> <ul style="list-style-type: none">・PremierとAfter Effectsの基本操作が学べた。・キーフレームという概念、軸線上のあるポイントでマークしたので、そのポイントでの座標上の位置や、不透明率、オーディオボリュームなどの値を指定する。・After EffectはPremierと違い、Durationというものがあり、アニメーションの長さ単位で指定できる。・フロッピーディスクを一つのファイルとしてまとめて読み込む場合に使う、レイヤーサイズは元の素材（レイヤー）の半分のサイズで読み込まれる。ドキュメントサイズは、アートボードのサイズで読み込まれるので、Illustratorで素材を準備する際に注意が必要。・After Effectの画面を縮小すると、動作が軽くなるので覚えておくといい。・アンカーポイントをアニメーションすると、変形の基準点とオブジェクトとの距離を調整できる。・モーションブラーは使える！ <p><難しかったこと></p> <ul style="list-style-type: none">・キーフレームの設定の仕方が難しかった。（設定されてしまっているかどうか確認する方法、キーフレームを消す方法）・また、アンカーポイントの活用方法がトレードのような動き以外にどう作るかがわからなかった。・After Effectのアニメーションがかなりたくさんある中で、どんな効果を使ったらカッコいいアニメーションを作れるのかがイメージが湧いていない。	<p><学習課題> 01_01_02_1.構築_後編~01_04_02_マスクのアニメーション 動画収録 4時37分44秒</p> <p>2.目的の学習が完了しました。フォーマットや設定を確認されましたね。よいと思います！類似に思うことを確認することも、全体の理解を思いっきり深めるためにやってみるのはいかがでしょうか？</p> <p>またAfter Effectsについて、いろいろなお気づきがありましたね！どれもじっくり理解されていることがよくわかるので良かったです。</p> <p>アンカーポイントのアニメーションはどこに中心点をどこに書くかどんな違いが出るか？を色々試してみようと思います。</p> <p>効果は代表的なものがあるか？を調べてください。あとはご自身でどんなアニメーションが面白い？効果が良いか？Webで色々さがしてみてください</p> <p>→ありがとうございます！いろいろなお話を聞いてみると良いですね！参考にさせていただきます！</p>
---	---	--

“人的”アダプティブ・ラーニング例

プロセス・結果
両面から評価



デジタルハリウッド大学大学院
「デジタル表現基礎」仕組み図

(人的な) アダプティブ・ラーニングのポイント

- **ログ収集 (学生の学習成果の可視化)**
- **教員の迅速で的確な助言・伴走**

全国20の教育機関へのインタビューから
実例を5つピックアップしてご紹介します。

ブルームの3教育手法

診断的評価：現状の理解度の確認評価
(例：レベル分けテスト)

形成的評価：指導途中のテストなどでの評価
(例：授業毎の小テスト)

統括的評価：一連の学習後の確認テスト
(例：定期試験・修了課題)

デジタルハリウッド大学大学院「デジタル表現基礎」にあてはめると

対象学生像	デジタルツールの学習が初めての社会人学生		
	事前の学生状態確認	各授業回での学生状態確認	最終的な成績・評価
ログ項目	<ul style="list-style-type: none"> 既に持っているスキルの洗い出し 目標設定と要素分析 	<ul style="list-style-type: none"> ①1週間の動画学習の振り返り ②ディスカッション議事録 	<ul style="list-style-type: none"> 課題作品と合わせ 学習報告書提出
収集方法	<ul style="list-style-type: none"> 目標シートへの記入 	<ul style="list-style-type: none"> ①目標シート振り返り欄への記入 ②ディスカッションシートへの記入 ともにGoogle Spreadsheet 	<ul style="list-style-type: none"> 学習報告書 (Google Spreadsheet)
収集タイミング	<ul style="list-style-type: none"> 初回授業前 	<ul style="list-style-type: none"> ①授業前日 ②授業中 	<ul style="list-style-type: none"> 授業終了から2週間以内
収集ログからの教員FB	<ul style="list-style-type: none"> 問いがあれば聞く 	<ul style="list-style-type: none"> ①学習状況を伝える 問いかけで自己解決を促す ②すぐに評価・点数付け 	<ul style="list-style-type: none"> 評価付けと問い合わせには回答

診断的評価

形成的評価

統括的評価

好例紹介

山野美容芸術短期大学

山野美容芸術短期大学 秋田先生（美容実技）

対象学生像	1年生、美容師の国家試験を受験する学生全員、1クラスに上位層・下位層がまざっている		
	事前の学生状態確認	各授業回での学生状態確認	最終的な成績・評価
ログ項目	コンピテンシー（行動特性）やリテラシー（知識）	技術工程チェック項目、作品評価項目、 自己動画・画像	国家試験の可否
収集方法	PROG https://www.riasec.co.jp/progtest/test/	Googleフォーム （学生にまず紙に記載→Googleフォームに転記）	国家試験
収集タイミング	入学時	定期的な授業回（毎回ではない）	国家試験時
収集ログからの教員FB	n/a	授業中に作品（自己動画・画像含）に対する個別コメント（口頭）、授業後は メールでのコメント、技術に関するQAシート、補習（対面、Zoom）	n/a

◆授業

1. 教員：2名（学生40名の場合）
2. 授業時間：概ね1回180分（×約50週）
3. 使用コンテンツ：Google Classroom
4. 使用ツール
- 1) 解説用スライド：技術に関する基本情報（デモ動画含む）
- 2) 技術工程チェック票：技術工程をさらに細かな構成要素に分けたもの（Googleフォームおよび紙媒体を、状況に応じて使い分ける）
- 3) 作品評価票：作品完成度の評価基準を、国家試験採点基準やコンテスト入賞条件に準拠し言語化したもの（Googleフォーム）
- 4) 技術に関するQ&Aシート
- 5) 学生の自己動画：施術中の行動を学生同士で撮影

◆課外（放課後や空き時間を利用）

1. 対面：補習授業
2. 遠隔：メールでのFBやZoomでの指導等

◆授業：実習初期（入学時）～後期（2年時11月頃）まで（180分×約50週）			
	教員	学生	ツール
実習初期／正確性	①解説用スライドや黒板を用い、技術に関する基本情報を教示する。 ②デモ動画、デモンストレーション、技術工程チェック票等によって、ひとつ一つの工程を説明しながら技術を教示する（工程をカテゴリーごとに区切って教示し実施させる。この時、時間設定はしない；正確性重視）。	デモ動画、実際のデモンストレーション、技術工程チェック票を確認しながら技術を行う（速さよりも正確性を重視）。	1) 解説用スライド 2) 技術工程チェック票
	◆動画撮影 ①ペアを決め、組む相手を学生へ伝える。 ②技術工程チェック票（紙媒体）を配布する。 ③撮影手順を説明する（撮影角度の指示等。板書も行う） ④施術および撮影を開始させる ⑤両者終了後、各々自己動画を自己チェックさせる。	①技術者は撮影者へスマートフォンを預ける。 ②技術者は施術を開始し、撮影者は教員の指示どおりに撮影する。 ③両者終了後、自己動画を見ながら（紙の）技術工程チェック票に、できている工程とできていない工程を自己チェックする。 ④チェックした内容をGoogleフォームのチェック票に転記し提出する。	1) 技術工程チェック票（紙およびフォームス） 2) 自己動画

◆授業：実習初期（入学時）～後期（2年時11月頃）まで（180分×約50週）			
	教員	学生	ツール
実習中期／後期／流暢性（正確性＋速さ）	①時間設定の上、学生に技術を実施させる（流暢性指導へ移行；正確性＋速さ）。 ②作業中の技術に対し、気付いた点を書き留める（終了後にFB）。 ③設定時間内に完成した学生へは、所要時間を口頭で伝える。 ④仕上がった作品に対し、一人ずつFBする。	①設定時間を目標に技術を行う。 ②終了後、「終わりました」と告げる。 ③所要時間を記録する（未完成・不足本数）。 ④FBを待つ間、作品を写真撮影し、作品評価票（Googleフォーム）に自己チェックし提出する。	作品評価票（フォームス）
	◆動画撮影	①ペアを決め、組む相手を学生へ伝える。 ②技術のQ&Aシートによって、できていない箇所に対し考えられる原因を確認させる。 ③原因を見極めるために必要な撮影角度を決め撮影者へオーダーさせる。 ④設定時間内で、技術および撮影を実施させる。 ⑤両者終了後、できていない箇所に対する原因を自己動画（行動）から分析させる。 ⑥ペアの学生と、FBし合う時間を設ける。	①Classroomに配布した技術のQ&Aシートを確認し、撮影してもらいたい角度を決め、撮影者へオーダーする。 ②技術者は撮影者へスマートフォンを預ける。 ③技術者は設定時間内に技術を行い、撮影者は技術者がオーダーした角度で撮影を行う。 ④両者撮影終了後、できていない箇所に対する原因を自己動画（行動）から分析する。 ⑤ペアの学生と、FBし合う。

◆課外：放課後や空き時間を利用			
	教員	学生	ツール
成績不良者に対するフォロー	1) 対面		
	<p>◆補習授業</p> <p>①個人または少数の学生に対し指導を行う。</p> <p>②学生の施術中の行動に着目した指導を行う。</p>	教員へ質問をし回答を得ることで不安要素を解消し、技術向上を目指す。	Q&Aシート
	2) 遠隔		
	<p>◆自主練習作品や自己動画に対するFB</p> <p>①メール等で作品の写真や自己動画を提出させる。</p> <p>②その際、学生が自己分析した内容等も入力させる。</p> <p>③写真や自己動画、自己分析した内容等をもとにFBする。</p> <p>④FBの際、極力できている箇所を探し賞賛する。</p> <p>⑤FBの文面は、学生が読みやすく理解しやすい表現を心掛ける（指摘箇所が多い場合は箇条書きにする等）。</p> <p>◆Zoomでの指導</p> <p>①技術に対する不明点や疑問点に応える。</p> <p>②実際のデモンストレーションやデモ動画を見せながら、技術工程や理論的説明を行う。</p>	<p>◆自主練習作品や自己動画に対するFBを受ける</p> <p>①教員へ、自己分析コメント等を付し、作品や自己動画を送りFBを受ける。</p> <p>②FBの内容をもとに練習をする。</p> <p>③再度作品の写真を提出しFBを受ける。</p> <p>④以上の内容を繰り返し行い、作品完成度の向上を目指す。</p> <p>◆Zoomで指導を受ける</p> <p>技術工程や作品の構成等解らない点を質問し、デモンストレーションや口頭による説明を受けて理解を深め、作品完成度向上を目指す。</p>	デモ動画 Q&Aシート 等

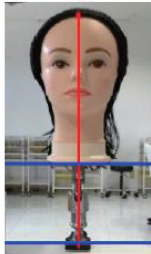
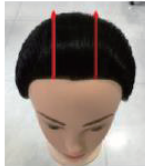


FAQを事前に学生共有しておくことで、指導負担を軽減、個別最適化を補強。

WD技術に関するQ&A			2021.11.16
カテゴリ	問題点	考えられる原因	工程表確認項目
ブロッキング	ブロッキングがまっすぐに取りれない	1.ウィッグ(クランプ)が傾いている 2.ウィッグが真正面を向いていない 3.分け取る位置に対し、目線が水平でない(膝の屈曲で目線を下げること) 4.オールバックに梳かす際、後方へまっすぐに梳かされていない	◆ブロッキング ①～③
	ブロッキングの幅が適切でない	1.コーム目盛の読み方が適切でない 2.終着点(ネープ)に囚われ過ぎている(まずはGP辺りまで手前にまっすぐコームを引き、その後真下へ向かって取るとよい) 3.「ネープを狭くする」を意識しすぎている 4.オールバックに梳かす際、後方へまっすぐに梳かされていない	◆ブロッキング ①～③

FAQをヴィジュアル付きで、より一層分かりやすく用意。当該授業回で習熟度確認。



ワインディング技術工程 (右利き用)

2021.11.5 編集

ブロッキング		○×
①	ウィッグの高さを調節し、まっすぐに立てる (ウィッグの台座と机が平行であり、ウィッグの正中がクランプの芯棒と同一線上にある)	
②	ウィッグ全体の毛を濡らし、後方へ梳かす (毛先の方から先に梳かす。センター付近はブロッキングする方向へ梳かす)	
③	正しい姿勢で行う (作業点に対し視線を水平に合わせる。低い施術箇所に対しては臀部を突き出さず、膝を曲げて腰を落とし視線を合わせる)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>正しい姿勢</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>誤った姿勢</p>  </div> </div>

各授業回での学生状態確認

授業回ごとの習熟度推移を確認

【ブロッキング】		／	／	／	／	／
①	ウィッグの高さを調節し、まっすぐに立てる（ウィッグの台座と机が平行であり、ウィッグの正中がクランプの芯棒と同一線上にある）					
②	ウィッグ全体の毛を濡らし、後方へ梳かす（毛先の方から先に梳かす。センター付近はブロッキングする方向へ梳かす）					
③	正しい姿勢で行う（作業点に対し視線を水平に合わせる。低い施術箇所に対しては臀部を突き出さず、膝を曲げて腰を落とし視線を合わせる）					
④	コームを正しく持つ（示指と母指は常に歯とテールの境に置く）					
⑤	コームを正しく扱う（縦方向のパーティングではコームの歯先を用いる）					
⑥	コームを正しく扱う（横方向のパーティングではテール先端を用いる）					
⑦	横方向のパーティングの際、左示指の指先をパーティングの終点に置く（縦方向のパーティングではケースバイケース）					
⑧	終点に向かって、コームのテール先端を頭の丸みに沿って動かす（頭皮から離さないこと）					
⑨	（横方向のパーティングでは、）左示指先とテール先端が接触したらそのままの状態でもみを8～10cm程度手前に引き、左示指と母指で、テールの上側にある毛束を寄せながら掴み、同時にテールを頭皮側に動かし余分な毛を押さえる					
⑩	パーティング後、パートラインに（沿って）コームの歯先を当て、根元から毛を梳かす					
⑪	梳かした毛束を、2重にした輪ゴムでとめる（この時コームは右手に持ったままである）					
○(正)の合計						
注	1) 適切な幅や奥行でパーティングする （センター幅：フロントライン～GP辺りまで8cm、そこからネープへ向かって若干狭くなり、ネープラインは約5～5.5cm。フロント奥行：7cm） 2) センターが左右にずれないようにパーティングする					単位：cm

◆到達度の低い学生Aに対するFB事例（一部抜粋）

各授業回での学生状態確認

教員
To [redacted]
[redacted]さん

7月30日(金) 18:35 ☆ ← ⋮

先日の試験の作品と比較すると、格段によくなりました。
来週の再試に向け、以下の点に気を付けて練習してみてください。

1. 両サイドのFWと中央のカールのつながりにおいて、各々の段にズレがないようにすること（若干怪しいのが、左側のリフト1段目～メイポールにかけて。また、リフト左巻きの右側のスライス位置はもう気持ち下げてもよいかと思います。）
2. リフト左巻きのスライス線は船底を意識しすぎかもしれない
3. FW全体および、耳下のカールについて、シェープが甘いです。ほどよい濃度のローションをつけ、左示指で押さえながらコームの歯をしっかり根元まで通し、梳かしましょう。
4. クロッキノールのピンング練習

以上、特に気になる点です。
よろしくお願いいたします。

教員
To [redacted]
[redacted]さん

8月7日(土) 22:22 ☆ ← ⋮

先程の作品より良くなりましたね。
以下、今回の改善点です。

1. 3段目のスカルプチュアカールのスライス幅が狭すぎるため、各々のカールが重なりすぎている
2. リフト左巻きは先程より落ち着きましたが、左から2個目のカールのピンングが、1個目カールのピンより上に留まっているため、不安定となりカールの重なりにも影響を及ぼしています。また同時に、ループをつぶさないようにピンングしましょう。
3. クロッキノールカールもフラットカールなので、カールを作る際、毛束に角度が付かないようにしなければなりません。以前も説明したように、毛束を梳かし指に巻く際は、ネープラインから2～3cm程度下がったところで巻いてから、残りを巻き上げます。
4. FWとカールの段がずれています。段にずれがないか、確認しながら作りましょう。

以上です。
引き続きよろしくお願いいたします。

各授業回での学生状態確認

学生 受信トレイ x

●●●●●●●●●●

8月7日(土) 22:08

To 自分 ▾

●●先生

遅くに失礼致します。●●クラスの●●です。
FBの方お願い致します。

教員

8月9日(月) 22:22

To ●●●●●●●●●● ▾

●●さん

こんばんは、●●です。

写真を送って頂く際、以下についてコメントを付していただけますでしょうか。
理由は、修正すべき点について、●●さんが理解しているか否かを知りたいからです。

1. FBを受けた点についてどのように気を付けて作成したか。
2. 作品に対し自己分析をした内容
3. 改善すべき課題

次回からはそうした点を踏まえFBさせていただきますね。
したがって、今回の作品について上記1, 2, 3を付して再送していただけますでしょうか。
よろしくお願いいたします。

学 生

受信トレイ x

各授業回での学生状態確認

8月15日(日) 17:02

To 自分 ▼

先生

●クラスの先生です。

FBの方お願い致します。

- 1.FBを受けた点についてどのように気を付けて作成したか。
リフト左巻きのカールの収まりを意識しました。
- 2.作品に対し自己分析をした内容
メイポールのカールをしっかり収めるように注意しました。
- 3.改善すべき課題
クロッキノールカールの収まりが悪いところです。

教 員

8月15日(日) 18:19 ☆ ↶ ⋮

To 先生 ▼

先生

こんにちは先生です。

早速FBさせていただきますね。

1. リフト左巻きの収まりは良くなりましたね。ただし、右巻きの方はスライス線より右下がっているため注意が必要です。
2. リフトについて追加：右巻きも左巻きもスライスに少々問題あります。右サイドが、その隣のFWに対し1/2よりも上でスライスされています。また、いつも言っていますが、もう少し船底型にスライスしましょう。バランスも大事。
3. 左耳上部のFWが下がり気味で、クローズドエンドもフェイスラインから出ていません。まずは2線目のFWの位置が下がっているので、もう少し上にリッジを出しましょう。
4. 耳下は、メイポールのピンニング含め少しずつ改善されていますが、シェーピングがもう少しです。
5. 耳下右側クロッキノール上部のFWが殆どないのでそこも要注意です。
6. クロッキノールはできている時もあるため、コンスタントにできるようにするとよいですね。

以上です。

引き続きよろしくお願いいたします。

各授業回での学生状態確認

学生 受信トレイ x

8月20日(金) 13:26 ☆ ↶

To 自分 ▼

先生

●クラスの先生です。

合格頂きありがとうございます！お知らせが来た時はすごく嬉しくて、努力は報われたなと思いました。自分でも、期末試験の時の作品と、昨日の作品を比べると、ほんとに変わったなと改めて思ったのと、手がちゃんと慣れたと実感しました。毎日メールで指導してくださってありがとうございます！ほんとに感謝です。FB受けた注意点や、改善点を忘れずに今後も授業に取り組んでいきたいと思います。お忙しい中ありがとうございます。

オールウェーブセッティング 学生Aの作品完成度の推移 (一部抜粋)



完成状態

X年7月8日



X年8月7日



X年8月12日



X年8月19日



各授業回での学生状態確認

良いポイントまとめ

【ログ収集】

- ・学生自ら撮った実習動画
- ・Google ClassroomとFormsを使って提出・管理
- ・できている工程とできていない工程の自己チェック
- ・自己分析コメントの提出

【コミュニケーション】

- ・形成的評価を重視している
- ・細かく学習の方向性を伝えている
- ・自分で考えることを促している

戸板女子短期大学 中村先生（英語）

対象学生像	短大生、女子、英語の勉強嫌い、学力レベル偏差値30-40相当		
	事前の学生状態確認	各授業回での学生状態確認	最終的な成績・評価
ログ項目	*英語レベル（現在は実施していない）	①学生は授業満足度、今日の目標達成度、次回目標を記入提出 ②クラスアドバイザー、授業担当者が学生の注意点を記入共有	学生プレゼンテーション実演
収集方法	*プレイスメントテスト（現在は実施していない）	①Google Classroom ②ポータルシステム	授業内発表（リアル配信）
収集タイミング	*初回授業前	毎回の授業時	最終授業
収集ログからの教員FB	初回授業時にループバック説明	次回授業時に口頭FB（グループ単位） ほめる	n/a

横浜美術大学 浅川氏 (デジタルデザイン)

Illustrator/Photoshop

対象学生像	1年生、デザイン初心者と経験者の混合クラス35名 入学時は80-90%がコンピューターリテラシー初心者		
	事前の学生状態確認	各授業回での学生状態確認	最終的な成績・評価
ログ項目	(シラバスとは別に) 学生個別の目標設定	作品の投稿、課題投稿, テキスト・画像での作品説明	コンピュータの基本操作、デザインアプリ の基本操作
収集方法	個別相談	Instagram, Google Classroom Zoomで個別面談	単位修得試験 (作品作り)
収集タイミング	初回授業時	毎授業時、授業外時間	単位修得試験時
収集ログからの教員FB	能力別に学生へのアドバイスを 変えている	Google Classroomを通じた個別 フィードバックコメント、 Zoom個別面談	能力別の個別目標の完了で評価

専門学校中央医療健康大学校 大石氏（理学療法）

対象学生像	学力面は大学受験が厳しいレベル層。今まで勉強する習慣がない。受験勉強の経験を持っていない。非常に素直。職業への興味高い。学習意欲あり。明るく、コミュニケーション能力高い。		
	事前の学生状態確認	各授業回での学生状態確認	最終的な成績・評価
ログ項目	入学時確認テスト、その職業に就きたい気持ちを10段階で記載してもらおうアセスメント	学校成績、模試成績、目標達成シート（1週間の学習スケジュール、学習時間実績、過去問進捗状況）、病院実習の様子、風紀状況	国家試験の合格
収集方法	テスト、アセスメント	学生による目標達成シートをPC上で記入し印刷して提出。学生管理システムで個別学生カルテ管理。	学生からの報告
収集タイミング	入学時	毎週	国家試験結果発表時
収集ログからの教員FB	個別面談、個別フォロー	成績の公開、アシスタントの増員での個別フォロー、学生同士でグループワーク 個人成績分布表を専用ソフトで作成	個別面談、個別フォロー

品川女子学院 竹内先生（情報科）

対象学生像	中学1年生（中学受験偏差値50）、高校1年生、女子、アクティブな生徒多い、プログラミングは初心者		
	事前の学生状態確認	各授業回での学生状態確認	最終的な成績・評価
ログ項目	個人の目標設定 （ビジネスプラン策定）	学習進捗状況（達成ノルマ設定）、 授業での成果物	成果物のクオリティ*必達のレベル設定有、ビ ジネスプラン作成
収集方法	オリジナルのワークシート	Google フォーム、ドキュメントや画 像データ（Googleドライブで共有管 理）	成果物提出、学生プレゼンテーション実 演
収集タイミング	n/a	毎授業（学習進捗状況は、 毎授業 の最後5分間を使って ）	最終授業時
収集ログからの教 員FB	マンツーマンでビジネスをカタチにする 面談を朝1人15分ずつ実施	ノルマ達成が難しい学生を授業内 放課後に個別フォロー	n/a

良いポイント

- ・Google のツールを使っている
- ・目標シートと進捗振り返り（メタ認知 自己調整学習）

課題ポイント

- ・個別フォローをもっと効率的に
そのためのマインドセット

15:00

個人ワーク

Classroomで共有したワークシートに
事例を参考にしながら、ご自身の授業で

- ・各タイミングでどんなログを
- ・どの収集方法で
- ・どう個別対応するか？

考える最も効率的で効果的な方法を考えてご記入ください。

15分

今実施していること



新しく取り入れたいこと

グループワーク

15分

グループでご自身の施策を発表し、
ディスカッションしてシートにコメントを記入してください。

・よい点

・改良提案

**グループでベストプラクティスを選び
代表者に発表してもらいます**

グループ発表

15分

**グループで選んだベストプラクティスを
代表者が発表してください**

1グループ3分程度

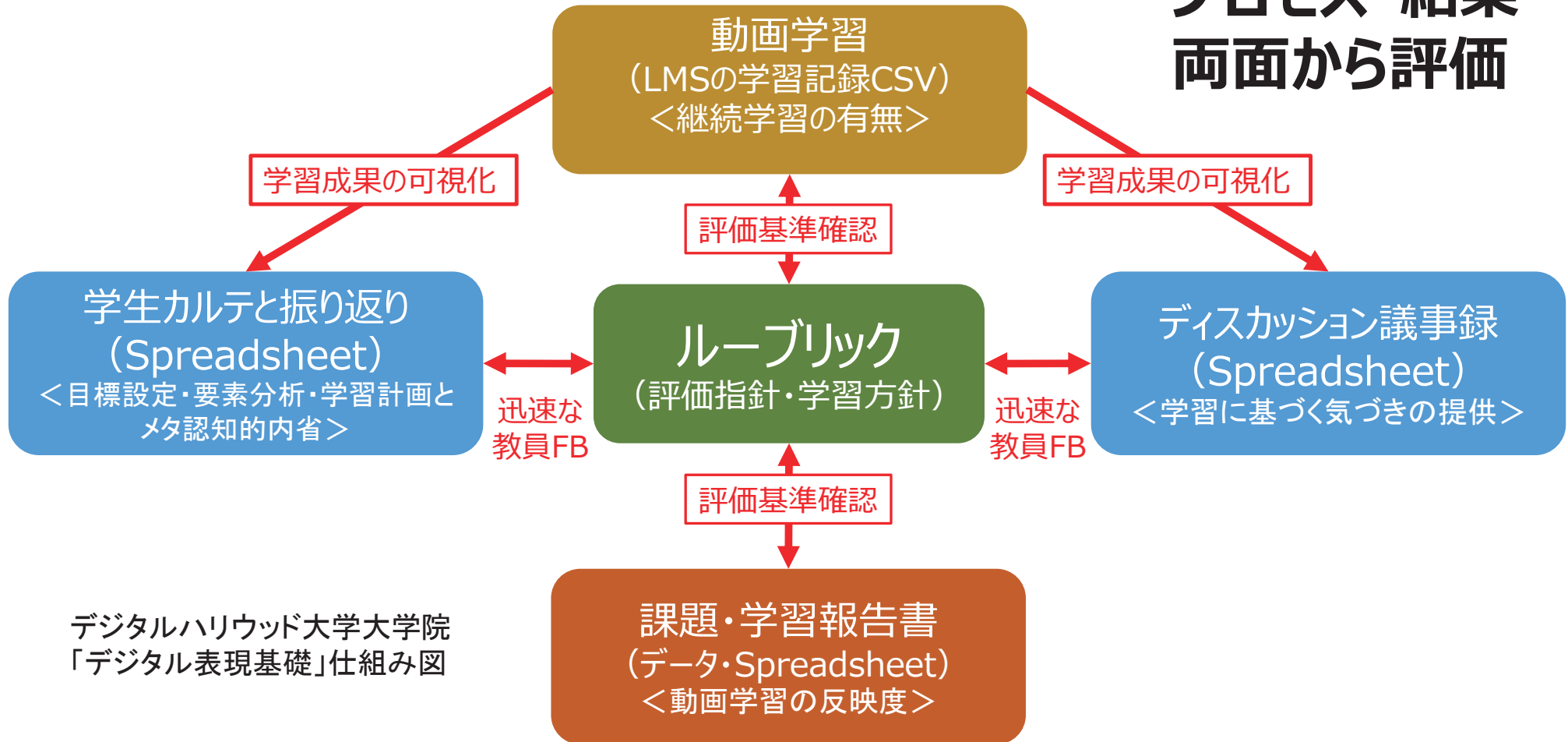
おつかれさまでした

“人的”アダプティブ・ラーニングをICTで行うメリット

- 一元管理できる
- デジタルカルテと学生の振り返り記入で
学生の情報や観察の精度があがる

“人的”アダプティブ・ラーニングの課題

プロセス・結果
両面から評価



デジタルハリウッド大学大学院
「デジタル表現基礎」仕組み図

“人的”アダプティブ・ラーニングの課題

石川授業における個別フィードバックの課題

「学習事実の指摘と自己解決の促しが中心」= 効率的

プラスアルファで

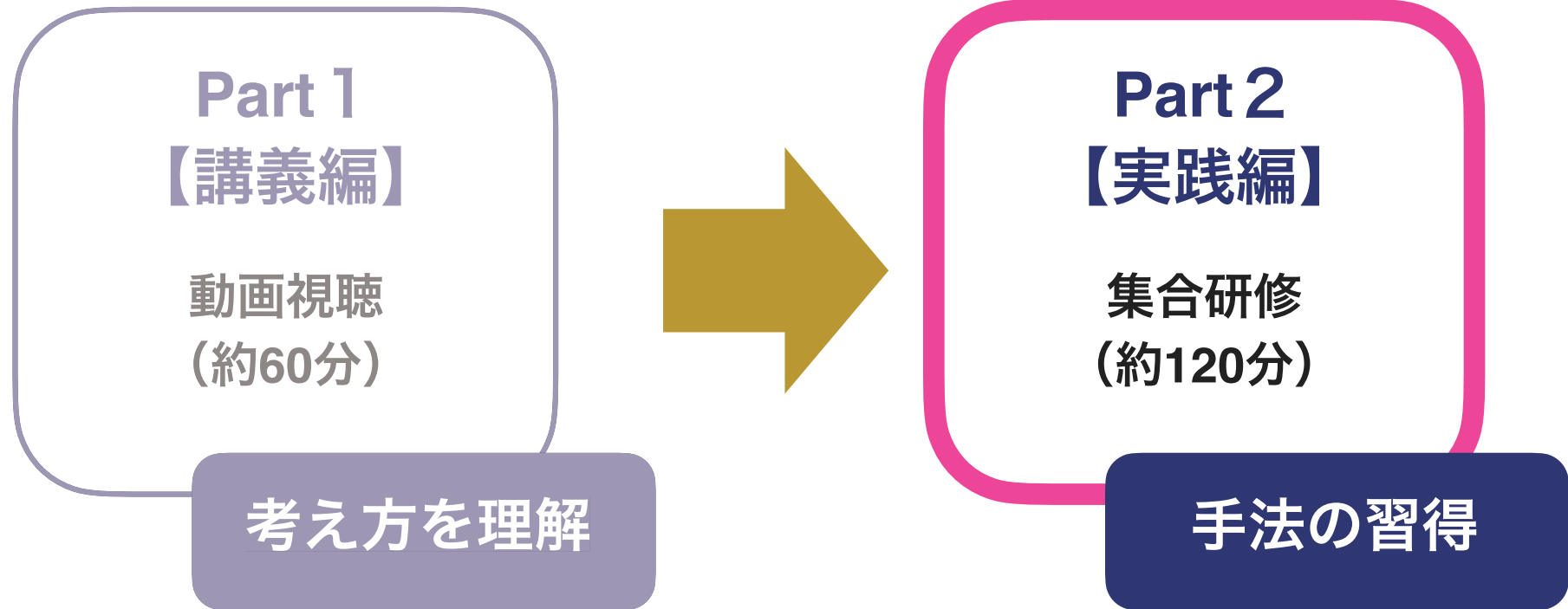
- ・やる気のない学生とのコミュニケーション
- ・やる気をさらに引き出す
- ・学生の内面にある答えを引き出す

ここをちゃんと
やりたい

「勇気づけコミュニケーション」 理論と手法を学ぶ（実践編）

担当講師：株式会社リソースフル 中田明子

「勇気づけコミュニケーション」プログラム全体像

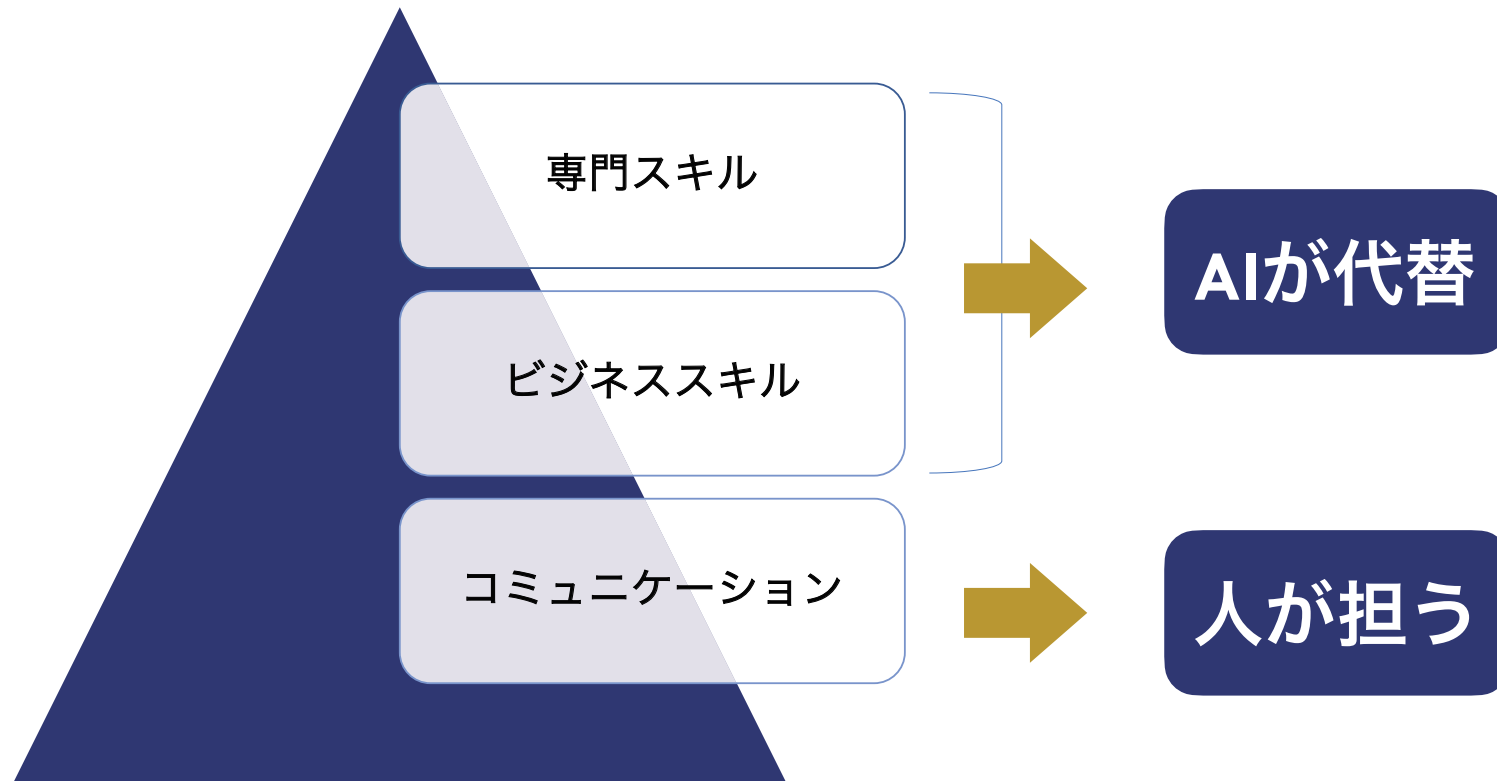


受講姿勢について

Coachable = coach + able
「コーチャブル・指導可能な状態」

Trial and error
実際にやってみる、失敗してみる

コミュニケーションスキルの重要性



「リソース」と「アンリソースフル」

リソース

スキル・能力・知識

or

リソースフル

リソースを発揮できる状態

勇気づけ



リソースを発揮できない状態

勇気くじき

アンリソースフル

「勇気づけコミュニケーション」とは？

①自己受容

自分を受け入れること

②他者信頼

まわりの人を信頼できること

③貢献感

まわりの人役に立てている
という感覚



勇気づけ

①～③を

1つでも上げること

勇気くじき

①～③を

1つでも下げるこ

勇気づけコミュニケーションの理論

1. 自己決定性

誰もが自分の人生を自分で決められる (⇔運命論)

2. 目的論

「何が原因か」ではなく「何を目的とするか」を考える
(≡バックキャストイング)

3. 対人関係論

すべての問題は対人関係に由来する

勇気づけコミュニケーションの手法「自己決定性」

「自分の人生を自分で決めている感覚」を持たせる勇気づけ

①過程を重視したメッセージ

- △ 「成績が1位だったなんてすごいね！」
- 「成績1位やったね！ 毎週課題を頑張ってた賜物だね！」

②能力ではなく努力に着目したメッセージ

- △ 「～の技術が得意で素晴らしいね」
- 「～の技術をこのレベルまで身につけるなんて素晴らしいね」

Exercise

【演習 1】

2人1組で役を決めパターンA・パターンBの2つの会話のセリフを気持ちを込めて読み上げてください。（終わったら役を交代して同様に行う）

パターンA

▶生徒

「試験合格しました！」

▶先生

「すごいね！ あなたは
この科目とても得意だね！」

パターンB

▶生徒

「試験合格しました！」

▶先生

「すごいね！ 努力した甲斐があったね！
特に努力したのはどんな点だったの？」

演習手順

Exercise

【演習1】

2人1組で役を決めパターンA・パターンBの2つの会話のセリフを気持ちを込めて読み上げてください。（終わったら役を交代して同様に行う）

パターンA

▶生徒
「試験合格しました！」
▶先生
「すごいね！ あなたはこの科目とても得意だね！」

パターンB

▶生徒
「試験合格しました！」
▶先生
「すごいね！ 努力した甲斐があったね！ 特に努力したのはどんな点だったの？」

10



- 3人組のブレイクアウトルーム
- 全員順番で「先生役」「生徒役」
- Aパターン、Bパターンの会話を全員が実施
- 話さない人は見学
- 会話練習が終了後、気づきや感想を共有
- 時間は5分

Exercise

【演習 2】

2人1組で以下のテーマでお話ください。

- ▶話し手：仕事などで『これまでにとても頑張ったこと』を話す（1分）
- ▶聞き手：以下の全てのポイントを含めて相手を称える（2分）
 - ①Having（持っているもの）車・家・見た目・学歴
 - ②Doing（やっていること）仕事・趣味・住まい
 - ③Being（あり方）考え方・価値観・性格・目標

演習手順

Exercise

【演習2】

2人1組で以下のテーマでお話ください。

- ▶話し手：仕事などで『これまでにとても頑張ったこと』を話す（1分）
- ▶聞き手：以下の全てのポイントを含めて相手を称える（2分）
 - ①Having（持っているもの）車・家・見た目・学歴
 - ②Doing（やっていること）仕事・趣味・住まい
 - ③Being（あり方）考え方・価値観・性格・目標

11



- 2人1組のブレイクアウトルーム
- 順番で「話し手」「聞き手（称える役）」
- 相手の時間を計る（1分/2分）
- 会話練習が終了後、気づきや感想を共有
- 時間は7分

Exercise

【演習1】

2人1組で役を決めパターンA・パターンBの2つの会話のセリフを気持ちを込めて読み上げてください。（終わったら役を交代して同様に行う）

パターンA

- ▶生徒
「試験合格しました！」
- ▶先生
「すごいね！ あなたはこの科目とても得意だね！」

パターンB

- ▶生徒
「試験合格しました！」
- ▶先生
「すごいね！ 努力した甲斐があったね！ 特に努力したのはどんな点だったの？」

10

Exercise

【演習2】

2人1組で以下のテーマでお話ください。

- ▶話し手：仕事などで『これまでにとても頑張ったこと』を話す（1分）
- ▶聞き手：以下の全てのポイントを含めて相手を称える（2分）
 - ①Having（持っているもの）車・家・見た目・学歴
 - ②Doing（やっていること）仕事・趣味・住まい
 - ③Being（あり方）考え方・価値観・性格・目標

11

勇気づけコミュニケーションの手法「目的論」

「『どうなりたいのか』という目的に注目する視点」を持たせる勇気づけ

①増えてほしい部分を指摘するメッセージ

- △「ここがまだ出来ていないから修正しよう」
- 「この点はとても良いから、同じ様にここも取り組んでみよう」
- 「自ら課題発見できて素晴らしいね」

②個人の成長に着目したメッセージ

- △「クラスメイト中で一番作品の出来が良いね」
- 「前の作品と比べると格段に良くなったね」

勇気づけコミュニケーションの手法「目的論」

「『どうなりたいのか』という目的に注目する視点」を持たせる勇気づけ

①増えてほしい部分を指摘するメッセージ

- △「ここがまだ出来ていないから修正しよう」
- 「この点はとても良いから、同じ様にここも取り組んでみよう」
- 「自ら課題発見できて素晴らしいね」

②個人の成長に着目したメッセージ

- △「クラスメイト中で一番作品の出来が良いね」
- 「前の作品と比べると格段に良くなったね」

Exercise

【演習 3】

2人1組で役を決めパターンA・パターンBの2つの会話のセリフを気持ちを入れて読み上げてください。（終わったら役を交代して同様に行う）

パターンA

▶生徒

「片付け終わりました」

▶先生

「ありがとう。」

・・・ただ、まだ用具が出しっぱなしだよ！
他の皆と比べてあなたは見落としが多いけど
そういう姿勢が成績にも現れるんだよ。
気を引き締めて注意しなさいね」

パターンB

▶生徒

「片付け終わりました」

▶先生

「残ってやってくれてありがとう。」

いつも当番しっかりやってくれて頼りになるね。
あと、その用具も棚に戻しておいてくれるかな。
よろしくね。」

Exercise

【演習3】

2人1組で役を決めパターンA・パターンBの2つの会話のセリフを気持ちを入れて読み上げててください。（終わったら役を交代して同様に行う）

パターンA

▶生徒
「片付け終わりました」
▶先生
「ありがとう。
・ただ、まだ用具が出っぱなしだよ！
他の皆と比べてあなたは見落としが多いけど
そういう姿勢が成績にも現れるんだよ。
気を引き締めて注意しなさいね」

パターンB

▶生徒
「片付け終わりました」
▶先生
「残ってやってくれてありがとう。
いつも当番しっかりやってくれて頼りになるね。
あと、その用具も棚に戻しておいてくれるかな。
よろしくね。」

17

演習手順



- 3人組のブレイクアウトルーム
- 全員順番で「先生役」「生徒役」
- Aパターン、Bパターンの会話を全員が実施
- 話さない人は見学
- 会話練習が終了後、気づきや感想を共有
- 時間は5分

Exercise

【演習4】

2人1組で役を決めパターンA・パターンBの2つの会話のセリフを気持ちを入れて読み上げてください。（終わったら役を交代して同様に行う）

パターンA

▶生徒

「バイトが忙しくて
実技の課題をする時間がとれません」

▶先生

「そもそもどうしてそんな無計画に
バイトを入れたの・・・！？
それに授業中しっかりやっていれば短時間でも
出来る課題なんだけどねえ・・・」

パターンB

▶生徒

「バイトが忙しくて
実技の課題をする時間がとれません」

▶先生

「そうなんだね、なんとか時間が作れないか
一緒に考えてみよう。
これからはしっかり時間が取れる様に
来月のバイトのシフトは変更できるかな？」

演習手順

Exercise

【演習4】

2人1組で役を決めパターンA・パターンBの2つの会話のセリフを気持ちを入れて読み上げててください。（終わったら役を交代して同様に行う）

パターンA

▶生徒

「バイトが忙しくて
実技の課題をする時間がとれません」

▶先生

「そもそもどうしてそんな無計画に
バイトを入れたの・・・！？
それに授業中しっかりやっていれば短時間でも
出来る課題なんだけどねえ・・・」

パターンB

▶生徒

「バイトが忙しくて
実技の課題をする時間がとれません」

▶先生

「そうなんだね、なんとか時間が作れないか
一緒に考えてみよう。
これからはしっかり時間が取れる様に
来月のバイトのシフトは変更できるかな？」

19



- 3人組のブレイクアウトルーム
- 全員順番で「先生役」「生徒役」
- Aパターン、Bパターンの会話を全員が実施
- 話さない人は見学
- 会話練習が終了後、気づきや感想を共有
- 時間は5分

Exercise

【演習3】

2人1組で役を決めパターンA・パターンBの2つの会話のセリフを気持ちを入れて読み上げてください。(終わったら役を交代して同様に行う)

パターンA

▶生徒

「片付け終わりました」

▶先生

「ありがとう。」

・・・ただ、まだ用具が出しっぱなしだよ！
他の皆と比べてあなたは見落としが多いけど
そういう姿勢が成績にも現れるんだよ。
気を引き締めて注意なさいね」

パターンB

▶生徒

「片付け終わりました」

▶先生

「残ってやってくれてありがとう。」

いつも当番しっかりやってくれて頼りになるね。
あと、その用具も棚に戻しておいてくれるかな。
よろしくね。」

Exercise

【演習4】

2人1組で役を決めパターンA・パターンBの2つの会話のセリフを気持ちを入れて読み上げてください。(終わったら役を交代して同様に行う)

パターンA

▶生徒

「バイトが忙しくて
実技の課題をする時間がとれません」

▶先生

「そもそもどうしてそんな無計画に
バイトを入れたの・・・！？
それに授業中しっかりやっていたら短時間でも
出来る課題なんだからね・・・」

パターンB

▶生徒

「バイトが忙しくて
実技の課題をする時間がとれません」

▶先生

「そうなんだね、なんとか時間が作れないか
一緒に考えてみよう。
これからはしっかり時間が取れる様に
来月のバイトのシフトは変更できるかな？」

勇気づけコミュニケーションの手法 「対人関係論」

「すべての問題は対人関係に由来するという視点」からの勇気づけ

①貢献や協力を注目したメッセージ

- △ 「～の技術が誰よりも上手だね」
- 「～のやり方はどんなコツがあるのか皆に教えてくれる？」
- 「（失敗例に対して）あなたのチャレンジが皆の学びになったよ」

②感謝を伝えるメッセージ

- △ 「頑張って試験合格しよう」
- 「あなたが試験に向かって頑張る姿でクラスの雰囲気引き締まるね！」

Exercise

【演習5】

2人1組で役を決めパターンA～Cの2つの会話のセリフを気持ちを込めて読み上げてください。（終わったら役を交代して同様に行う）

パターンA

▶生徒

「資格取得しました！」

▶先生

「おめでとう！」

あなたはセンスもあり、
素質もあって、
本当にすごいね！」

パターンB

▶生徒

「資格取得しました！」

▶先生

「おめでとう！」

これまでの努力が実ったね！
あなたのこれまでの勉強方法は
クラスの皆の役に立つと思う。
今度の授業で工夫した点など、
発表してもらえるかな？」

パターンC

▶生徒

「資格取得しました！」

▶先生

「おめでとう！」

これまでの努力が実ったね！
あなたの頑張りがクラスの皆にも
私にも良い刺激になっているよ！
いつも積極的に頑張ってくれて
ありがとう！」

演習手順

Exercise

【演習5】

2人1組で役を決めパターンA~Cの2つの会話のセリフを気持ちを込めて読み上げてください。(終わったら役を交代して同様に行う)

パターンA

▶生徒
「資格取得しました！」
▶先生
「おめでとう！
あなたはセンスもあり、
素質もあって、
本当にすごいね！」

パターンB

▶生徒
「資格取得しました！」
▶先生
「おめでとう！
これまでの努力が実ったね！
あなたのこれまでの勉強方法は
クラスの皆の役に立つと思う。
今度の授業で工夫した点など、
発表してもらえるかな？」

パターンC

▶生徒
「資格取得しました！」
▶先生
「おめでとう！
これまでの努力が実ったね！
あなたの頑張りがクラスの皆にも
私にも良い刺激になっているよ！
いつも積極的に頑張ってくれて
ありがとう！」

23



- 2人1組のブレイクアウトルーム
- 順番で「生徒役」「先生役」
- 会話練習が終了後、気づきや感想を共有
- 時間は5分

勇気づけコミュニケーション比較

	勇気くじき	勇気づけ
「1.自己決定性」 コントロールできることにフォーカス	成果のみを重視 能力だけに注目	過程をも重視 努力にも注目
「2.目的論」 結局、本当はどうなればいい？	できていない部分を指摘 他人との比較を重視	増えてほしい部分を指摘 個人の成長を重視
「3.対人関係論」 「他人の役に立っていること」に気付ける	勝ち負けだけに注目 褒める	貢献や協力にも注目 感謝する

ケーススタディ①資料

以下は2年生の学生Aさんに関するログです。(現在は11月)

ここからどのようなことを読み取り、これからどう対応しようと思いますか？

出席状況(出席日数/授業日数)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生		21/21	18/18	16/17	21/21	夏休み	19/20	22/22	19/19	19/19	19/19	18/18	22/23
2年生		20/21	18/18	22/22	20/21	夏休み	17/20	17/21					
課題提出状況		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生	課題提出数	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4
	期限内提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	評価(100点満点)	80	80	85	90	80	80	90	95	90	80	80	80
2年生	課題提出数	4/4	4/4	3/4	4/4	3/4	2/4	2/4					
	期限内提出	○	○	×	○	×	×	×					
	評価(100点満点)	80	70	70	80	70	50	50					
2年生7月9月10月のAさん振り返り		授業満足 (10点満点)	授業理解 (10点満点)	授業速度 (10点満点)	授業内容量 (10点満点)	感想・要望の自由記載欄							
7月	1週目	8	8	8	8	勉強とアルバイトを両方頑張っています							
	2週目	8	8	8	8								
	3週目	8	8	8	8								
	4週目	8	8	8	8								
9月	1週目	7	7	7	7								
	2週目	7	7	7	7	アルバイトが忙しくて課題提出が遅れてしまった、次から頑張ります							
	3週目	6	6	7	7								
	4週目	6	6	7	7	忙しくて課題に取り組めなかった							
10月	1週目	6	6	7	7	アルバイト疲れで眠く、勉強に集中できない							
	2週目	6	6	7	7								
	3週目	5	5	7	7								
	4週目	5	5	7	7	忙しくて課題に取り組めなかった							

ケーススタディ②資料

以下は1年生の学生Bさんに関するログです。(現在は7月)

ここからどのようなことを読み取り、これからどう対応しようと思いますか？

出席状況(出席日数/授業日数)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生		21/21	18/18	22/22		夏休み							
課題提出状況		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生	課題提出数	4/4	4/4	4/4									
	期限内提出	○	×	×									
	評価(100点満点)	80	70	60									
1年生4月5月6月のBさん振り返り		今週満足 (10点満点)	授業理解 (10点満点)	授業速度 (10点満点)	授業内容量 (10点満点)	感想・要望の自由記載欄							
4月	1週目	8	8	8	8								
	2週目	8	8	8	8								
	3週目	8	8	8	8								
	4週目	8	8	8	8								
5月	1週目	7	7	7	7	あまり学校が楽しくない							
	2週目	7	7	7	7								
	3週目	6	6	6	6								
	4週目	6	6	6	6								
6月	1週目	5	5	5	5	最近授業が早くてついていけない 今後、何をしたらよいかわからなくなってきた だんたん評価が下がってきて心配、今月は平均以下の点数で悩んでいる							
	2週目	5	5	5	5								
	3週目	5	5	5	5								
	4週目	5	5	5	5								

【まとめ】 あなた自身がリソースフルになるために

Q1.あなたが「自己受容」「他者信頼」「貢献感」を十分に感じられるのはどんな時ですか？

Q2.この3つを高めるために、すぐできるアクションを2～3個あげてください。

-
-
-
-

Q3.上記から、今日中にできることを1つ決め、本日中に実行してみましよう。

「思い込み」に陥ってしまうストレス状態

危険を察知

- 外敵
- ストレス
- プレッシャー

今までと違う！
危険だ！

脳から指令

- 逃げろ！
 - 闘え！
- (逃走・闘争)

ストレスホルモン
視野狭窄

思考が偏る

- 短絡的
- 少ない情報

バイアス
思い込み

主な参考文献

- 「幸せに生きる方法」 平本あきお／前野隆司
- 「行動意思決定論 バイアスの罠」 マックス・H. ベイザーマン
- 「ファスト&スロー」 ダニエル・カーネマン
- 「自分では気づかない、ココロの盲点」 池谷裕二
- 「完全なる経営」 A・Hマズロー
- 精神科医が見つけた 3つの幸福 最新科学から最高の人生をつくる方法 樺沢紫苑

令和3年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」
(2) 教職員の資質能力向上の推進①効果的な教育成果②教職員研修プログラムの構築

ICT活用研修教材

～アダプティブラーニング教授法を修得するための研修プログラム～

令和4年3月

一般社団法人 全国専門学校教育研究会
〒107-0062 東京都港区南青山2-2-15 ウイン青山1403

●本書の内容を無断で転記、掲載することは禁じます。